

自然観察NOW

野幌森林公園自然情報

2007. 6. 3 No. 3

北海道ボランティア・レンジャー協議会

森の機能と効用

森の構造や働きについては、そこに棲息する植物、動物、土壤微生物や菌類の相互関係の上に成り立っています。

植物は二酸化炭素と水から太陽エネルギーを利用して光合成をおこない、有機物と酸素をつくり出します。その効用として、炭素の固定をはじめ、野生動物への住家や食物の提供をしたり、森が荒れるの防いだり、木材の生産など、様々な効用を生み出しています。

森に棲む動物は植物が生成した有機物（葉や幹など）をエネルギー源（食物）として活用して土壤微生物や菌類が利用できる養分に変えていきます。また、植物の種子や花粉を運んだりして、その生殖や生育を助けています。

土壤微生物や菌類は植物の枯葉や枯枝、動物の遺体や糞などを分解して、肥料分に変える働きをして、それを植物に還元していきます。

森の構造的な面から動物との関係を見てみましょう。森はおおまかに見ると、高木、低木、草本から成り立っています。樹木は寿命が長く多様で立体的な構造をもっています。そのため、多くの動物がそれぞれの階層ごとにすみかを作り、天敵から身を守ることも可能であり、繁殖の場所にもなっています。樹木は堅いので登ることもできるし、キツツキ類のように穴をけて巣にすることもできるし、大木のウロ（穴）をすみかとする大型の鳥もいます。

このほか、森は木の実などの食料源も豊富で、動物の食料供給の場所でもあります。このように森は多様であり立体的な樹木で構成されている生態系のため、動物にとって最も安定した環境といえます。

樹木や野草の名前を知ることも良いことですが、森の機能と効用について改めて考えてみることも必要です。

森という言葉

豊かな森は私たち人間ばかりでなく森に棲む動物たちにも多くの恵みを与えています。このような森の姿を昔の人たちはどのように捕らえていたのでしょうか。森という言葉のいわれについてはつぎのような説があります。

- ①「盛（も）り盛りと木の繁ったところ」から来たとの説
- ②「神霊が籠（こも）っているところ」から来たとの説
- ③「神霊を守（まも）っているところ」から来たとの説
- ④「諸（もろ）諸の木があるところ」から来たとの説
- ⑤アイヌ語の「モ」（小さい）「リ」（高い、山）から来たとの説

森の中を歩きながら、昔の人々がどのような想を抱いていたかを、森の歴史や思想の上から考えるのも面白いことです。

自然観察 Q & A

Q シウリザクラが蕾をつけていますが、シウリとはどのような意味ですか。

A シウリザクラに房状のつぼみがつきはじめました。このような花の付きかたを総状花序（花軸に柄を持つ花が多数つき、基のほうから順に先へと咲いていきます）といいます。学名を *Prunus ssiori* といい、属名はスモモのラテン語から、種名はアイヌ語のシュ・ニ（苦い・木）からきています。かって、アイヌの人たちはこの木の樹皮を煎じてお茶や薬として飲んだといわれて、シウリの語源はアイヌ語のようです。

シウリザクラは別名シオリザクラ、ミヤマイヌザクラとも言われていて漢字で、朱里桜、朱利桜、朱桜とも書きます。

葉は長楕円形、先はとがり基はハート形で、葉柄の上端に蜜腺が一对りますので、確認してみましょう。まもなく咲き始める房状の白い花が楽しみです。

Q オオアマドコロの花がさいっていますが、名前の由来について教えてください。。

A 大型のアマドコロと言う意味で、地下茎がヤマトイモ科のトコロに似ていて、食べると甘みがあるとのことです。トコロの地下茎にはひげ根が曲がっていることが多く、その姿を老人に見立てて、原野の老人ということで「野老」とも言われ、漢字で「大甘野老」と書きます。

アイヌ語では、エトロオラッキプと言ひ、エトロ（鈴）オ（そこに）ラッキプ（ぶらさがるもの）となり、鈴のように実がなることからそう呼ばれていました。

このオオアマドコロは漢方薬として、根は痔に、果実は胃弱の薬としました。それ以外に根茎も焼く、煮るなどしてたべたとも言われています。

Q カッコウの習性（託卵）について教えてください。

A 託卵とはほかの鳥の巣に卵を産み、孵った雛を育てさせる習性のことをいいますが、カッコウが託卵することはどなたでもご存じでしょう。この託卵はツツドリ、ジュウイチ、ホトトギスも同じ習性をもっています。

カッコウの託卵の相手はホオジロ、オオヨシキリ、モズ、セキレイなど28種が報告されています。託卵の方法は相手の鳥の巣から卵を1~2個抜き取っておいて、もともとその場所にあったかのように自分の卵を産みます。

カッコウの学名は *Cuculus canorus* で、ククルスは鳴き声で、カノルスは「音楽的な」との意味があります。カッコウの分布域は大変広くヨーロッパからアジア大陸にかけて繁殖すると言われています。

6・7月の観察会は？

◆北広島レクの森観察会 6月17日（日） 10:00~12:30 レクの森入り口集合

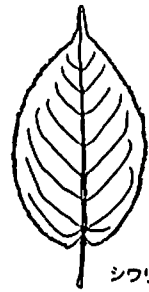
フタリシズカの花が待っていますし、樹木の花も見ることができます。

◆初夏の森観察会 7月8日（日） 10:00~12:30 大沢口ふれあい交流館

夏の気配を感じながらの観察会です。オオウバユリの花がみられるかも知れません。

◆芸術の森周辺観察会 7月22日（日） 10:00~12:30 芸術の森停留所前集合

芸術の森周辺や真駒内川の流れをみながら、夏の自然の観察会です。



シウリザクラ